

(はじめに)

当法人は、昭和 62 年 11 月 20 日に厚生労働大臣（旧厚生大臣）により設立が認可され、平成 23 年度に公益社団法人の移行申請を行い、平成 24 年 3 月 21 日付けで内閣府から公益社団法人として認定を受け、平成 24 年 4 月 1 日公益社団法人の登記を行いました。平成 31 年 3 月末現在、会員数は 812 名（正会員 705 名、準会員・歯科衛生士 89 名、賛助会員 18 社）です。

設立当時から研究実績、歯科医師等の教育研修の実績を重ね、歯科先端医療の普及向上を図り、歯科先端医療の水準向上を促進させたことにより、国民及び関係者の評価を受け発展してきました。これも、先駆者をはじめ、関係各位の多大の努力、研鑽の賜物であり、今後においても、更なる公益事業の向上に向けて、一層の礎の強化、発展に向けて努力を重ねてまいります。

当公益社団法人は、歯科先端医療に関する調査研究、開発及び実験並びにこれらの成果の普及に関する教育研修等を行い、もって専門的な知識に関する普及啓発、技術の向上及び国民の医療・福祉の向上に寄与するために以下の事業を行っております。

- (1) 歯科インプラント、歯科領域の移植、歯科外科矯正その他の歯科先端医療に関する調査研究、開発及び実験を行うこと
- (2) 歯科先端医療に関する教育研修を行うこと
- (3) 歯科先端医療の研究開発に顕著な貢献をした個人又は団体に対して表彰並びに助成を行うこと
- (4) 歯科先端医療に関する国際協力を行うこと
- (5) 歯科先端医療に関する普及啓発を行うこと
- (6) 再生医療委員会等を設置し再生医療等安全の確保を行うこと
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと

また、上記に掲げる事業目的を達成するために、当分の間、次の事業区分を中心に事業を展開します。

1. 研究開発事業に関すること
2. 学術講演会・地区研修会事業に関すること
3. 市民公開講座に関すること
4. 機関誌に関すること。
5. インプラント学会認定講習会に関すること
6. 研修会、講習会及び学会出席（発表）を通じ、積極的な歯科先端医療研究（学術）の習得を促す事業に関すること
7. 委員会事業に関すること
8. 全国各地区の学術に関する啓発を図り、歯科医師等の教育研修の活性化に関すること
9. 歯科医療に関する国際協力に関すること
10. 定時総会に関すること
11. 理事会に関すること

『事業報告』

1. 研究開発事業に関すること

歯科先端医療に関する調査・研究によって学術・技術の発展を図ることを目的として歯科大学の研究機関等との協力に基づき、共同研究を行っている。また、研究成果を学術大会、学術会誌等に連携させ公表している。今年度は以下のとおりです。

- 1) 研究内容は、「①ジルコニアの口腔インプラント材への応用に関する研究 ②顎骨再生技術の最適化に関する研究」

契約機関は、(株)経営科学研究所

- 2) インプラントに関する論文 (1 編)、発表 (20 編) 別紙一覧表に記載

- 3) 宇部実験所に関すること

建物、92.94 m² 銅板葺き、土地、(原野) 85 m²・45 m²・64 m²・320 m²・937 m²計 1.451 m²を宇部市大字川上字白石 704-28 に保有している。

2. 学術講演会・市民公開講座

【学術講演会の開催】

- ・ 6 月学術講演会 (参加者 47 名)

平成 30 年 6 月 17 日 (日) 10 時 00 分～12 時 40 分 福岡県歯科医師会館において開催。

講師 田口円裕 先生 厚生労働省医政局歯科保健課長 「歯科医療ビジョン」

講師 松井孝道 先生 宮崎県開業

「インプラント周囲炎の非外科的治療と外科的治療を考察する」

- ・ 3 月学術講演会

平成 31 年 3 月 10 日 (日) 10 時 00 分～16 時 30 分 ステーションコンファレンス東京で開催。インプラント治療を取り巻く様々な学術情報について紹介した。

参加者 125 名 (会員歯科医師 70 名、非会員歯科医師 21 名、会員歯科衛生士 6 名、非会員歯科衛生士 8 名、歯科技工士 1、一般 19 名)

会員発表 「歯科臨床の展望」

江黒 徹 骨造成? or ショートインプラント?

麻生幸男 内視鏡下鼻内副鼻腔手術にて慢性鼻性上顎洞炎を改善させ上顎臼歯部インプラント埋入した一例

前川修一郎 上顎前歯部のインプラント治療に Socket shield technique を併用した一症例
— 審美における臨床的考察 —

今宮圭太 インプラント治療から歯科医療の価値を考える

柴垣博一 訪問歯科診療におけるインプラント治療の実際と展望

吉野 晃 既存のインプラントから考えるインプラント治療の現状と展望

大橋 功 抗加齢医学の視点から考える欠損補綴治療の意義と展望

EMS Japan 株式会社 臨床的エビデンスに基づいたメンテナンスの手順書 SPT に基準を設ける Guided Biofilm Therapy について

特別講演 「デジタルマネージメントとマテリアル選択の現状」

三輪武人 先生（有限会社協和デンタル・ラボラトリー）

【市民公開講座の開催】

第1回市民公開講座

平成31年3月10日（日）13時30分～14時40分 ステーションコンファレンス東京で開催。

テーマは「口腔疾患・環境変化と認知症～歯科の認知症予防・治療に果たす役割について～」

講師 道川 誠 先生 名古屋市立大学大学院医学研究科病態生化学分野教授

参加者 125名

3. 【地区会学術講演会・研修会】

○（北海道・東北地区学術講演会・研修会、地区会長 三嶋 顕先生）

- ・ 第1回 平成30年11月11日（日）8時50分～16時40分

北日本口腔インプラント研究会と日先研北海道・東北地区会の合同研修会をホテルノースシティで開催。（参加者135名）

講演メインテーマは「歯科医療が築く未来へステップ」

教育講演「障害児への対応・歯科診療時の工夫」

北海道医療大学病院 歯科衛生士長 梶 美奈子先生

特別講演Ⅰ「デジタルデンティストリーの現状と展望」

日本口腔インプラント学会理事長 宮崎 隆先生

特別講演Ⅱ 「過去・現在そして未来のインプラント治療を考える」

日本口腔インプラント学会 指導医 高橋 徹次先生

この他北日本口腔インプラント研究会会員3名による一般講演を行った。

○（関東・甲信越地区学術講演会・研修会、地区会長 野村智義先生）

- ・ 第1回 平成30年9月2日（日）10時00分～17時00分 日本歯科先端技術研究所で開催。（参加者24名）

外部講師 倉嶋敏明 先生

欠損歯列への対応・様々な病態を考慮して～歯を残す・歯列を回復する・咬合を再建する～

○（近畿北陸地区学術講演会・研修会、地区会長 森本恭司先生）

- ・ 第1回 平成30年9月13日（木）16時～18時40分 ニュージャパン敦煌（参加者37名）

内部講師 テーマ「インプラント治療の長期に安定した予後を求めて」

江黒 徹 先生 日先研会員

- ・ 第2回 平成31年2月17日（日）9時～13時30分

大阪市ホテルニューオータニ（参加者251名）

外部講師 テーマ「“人体解剖学実習”から歯科臨床へ伝えたいこと」

上村 守 先生 大阪歯科大学解剖学講座講師・大学院講師

外部講師 テーマ「高齢者の口腔機能低下とオーラルマネジメント」

高橋 一也 先生 大阪歯科大学高齢者歯科学講座主任教授

○（中国四国地区学術講演会・研修会、地区会長 松江正芳 先生）

- ・ 第1回 平成30年7月22日(日)9時～12時 海眺の宿あいお荘で開催。(参加者数8名)
内部講師 野本秀材 先生 日先研会長
テーマ「光学印象について」
- ・ 第2回 平成31年2月24日(日)9時～11時 山口県宇部市 ANAクラウンプラザホテル宇部
で開催。(参加者19名)
内部講師: 山根 進 先生 山口県開業
テーマ「骨補填材」

○ (九州地区学術講演会・研修会、地区会長 金藤 哲明先生)

- ・ 第1回 平成31年3月30日(土)18時30分～20時 福岡県歯科医師会館 (参加者14名)
外部講師: 大渡 凡人 先生 九州歯科大学教授
テーマ 「安全なインプラント手術を実現するための歯科医療リスクマネジメント」

4. 【委員会報告】

1) 総務委員会 (和手甚京 委員長)

平成30年度メールマガジンの配信・HPの更新は随時行い、学術大会・地区研修会・並びに関係団体主催の学術大会等の事業活動状況をタイムリーに情報提供を行っている。なお、平成30年度は第445号～第502号(58回)まで配信するとともにホームページを随時更新している。

ホームページのリニューアルは9月に完了し適宜ブラッシュアップを行っている。

2) 財務委員会 (木村英一郎 委員長)

- ・ 第1回 平成30年5月24日(木)16時～18時、日先研において尾上雄平監事・佐藤隆幸監事から担当役員等の立会いのもとで監事監査を受けた。

講評として、監事から、「事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示している。又、計算書類および付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に処理されている」との講評があった。

また、監査終了後、理事会、総会時の財務報告について平成29年度の収支決算報告書の作成にあたり引き続き打合を行った。

- ・ 第2回 平成30年11月29日(木)13時～15時、日先研にて平成30年度の4月から10月までの収支執行状況について打合せを行った。
- ・ 第3回 平成31年2月21日(木)13時～15時、日先研において平成31年度事業計画・収支予算執行案及び平成30年度の収支予算執行状況について打合せを行った。

3) 学術委員会 (野村智義 委員長)

1. 研究開発事業に関すること、2. 学術大会・市民公開講座、3. 地区学術講演会・研修会の項に記載。

4) 認定講習会委員会 (竹島明道 委員長)

公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会開催を通して、歯科インプラント並びに歯科先端医療に関する専門的な知識の普及啓発と技術の向上に寄与し、もって歯科医療の普及向上を図ることを目的に実施している。同学会専修医申請には認定講習会を受講していることが必須条件となっており、当法人は同学会から指定研修施設の認定を受け開催している。

認定講習会の開催にあたり、歯科雑誌等に認定講習会の募集広告を広く掲載し、4月から12月まで（8月を除く）土曜日（15:00～19:45）と日曜日（9:00～16:15）の2日間を毎月1回開催し、基礎知識、インプラント基本手技、臨床、手術実習、生体反応（病理・病態）等の内容で単位数112の認定講習会を開催している。平成30年度受講者数は24名（会員24名）。この認定講習会は、当法人の中核的な事業であり、毎年計画時には、インプラントの先端治療等の研修内容の見直しを図っている。

5) 編集刊行委員会（溝口 尚 委員長）

- ・編集委員会により日本歯科先端技術研究所機関誌（学会誌）24巻2号～3号、25巻1号を発行した。

本事業は、機関誌の発行を通じて歯科インプラント並びに歯科先端医療に関する専門的な知識の普及啓発と技術の向上に寄与するため歯科大学の先生ならびに会員から投稿された論文、症例報告や会員情報、各種委員会報告、各地区の研修会日程・報告、地区だより、会員紹介等、事業活動を掲載し、年3回機関誌として発行しており、学会誌の発行を通じて広く情報提供することによって歯科医師や国民の生活環境の保全と向上のために寄与している。投稿については論文投稿規定に基づき発刊し、当法人のパンフレット、入会案内等については随時見直しを行っている。機関誌は全国の歯科大学、歯科大学図書館、厚生労働省等の行政機関、関連団体に配布し、受益の機会は広く一般にも公表している。

- ・編集委員会開催は以下のとおり。

- 1) 平成30年5月19日（土）19時30～21時00分 ゼニス出版 第24巻2号
- 2) 平成30年10月20日（土）19時30～21時30分 ゼニス出版 第24巻3号
- 3) 平成31年1月13日（日）19時30～21時30分 ゼニス出版 第25巻1号

6) 国際渉外委員会（大橋 功 委員長）

この事業は、歯科の高度先進医療、口腔インプラント治療における高度の科学的・技術的な専門性が求められていることから、専門分野とする歯科医師が海外の先進的な歯科医療機関において国際的視点から歯科先端医療の向上、人材の育成を図ることを目的として、医療機関への研修等の依頼並びに研修先の医療機関の選定等を行っている。また、学術委員会と連携し、当法人が開催する学術大会の海外講師の選択も行っている。

今年度は学術大会のテーマに沿えなかったため招聘できなかったがこれからも海外の歯科大学等の医療機関と交流を深め歯科先端医療の向上と人材育成のため取り組む。

なお、ASEAN若手研究者との本会学術講演会での交流について、東京医科歯科大学の大学院生（インプラント口腔再生医学講座3名と高齢者歯科学講座4名）の合計2講座7名を招待した。

7) 認定衛生士・技工士委員会（柴垣博一 委員長）

- ・歯科衛生士等の歯科先端技術や知識の確保、口腔インプラント学の研鑽を図り、研修を通して多くの歯科衛生士等を育成している。

第12回認定歯科衛生士セミナー

平成31年1月13日（日）10:00～16:00 2月24日（日）12:30～16:30

3月10日（日）10時00分～16時30分

日本歯科先端技術研究所・ステーションコンファレンス東京

受講者 15 名

8) MCI サポート認定委員会 (米山俊之 委員長)

- ・社会問題となっている認知症ならびにその前駆症状とされる軽度認知障害(MCI)に平成 27 年から取り組んでいる。この研修会は、歯科医・歯科衛生士により軽度認知症ならびに認知症に関わる広い学識と認知機能に関する「MoCA-J」スクリーニング検査の習得ならびに歯科分野における口腔機能管理をもって患者をサポートする技能を有する歯科医・歯科衛生士の養成を図り、認知症を早期発見し専門医に紹介することによって認知症医療に貢献することを目的とした事業である。

- ・軽度認知障害支援 (MCI サポート) 歯科医・歯科衛生士アドバンスセミナーを開催した。

平成 31 年 3 月 24 日 (日) 10:00-13:00

開催場所 日本歯科先端技術研究所

受講者 21 名

歯科医師 会員 11 名 非会員 2 名 計 13 名

歯科衛生士 会員 0 名 非会員 8 名 計 8 名

9) 資格対策委員会 (奥森直人 委員長)

- ・ケースプレゼンテーション試験対策

- ・第 1 回 平成 30 年 6 月 3 日(日) 10 時～ 概要報告書作成

第 2 回 11 月 24・25 日(日) 10 時～ 試験当日の質疑応答の対策

第 3 回 12 月 16 日(日) 10 時～ 最終対策

平成 30 年度は、(公社)日本口腔インプラント学会ケースプレゼンテーション試験を 19 名が受験し全員合格した。

氏名 (敬称略)

麻生幸男 劔持正浩 南伸也 手代木崇 新海正碁 野本翔太

三木康史 樋口敬訓 山根茂樹 福田真之 勝俣 弾 生井友農

乾 琢真 片岡英里 引間 新 山根晃一 多田祐介 徳山祐輔

羽毛田 匡

- ・(公社)日本口腔インプラント学会 専門医資格取得支援講習会。

- ・第 1 回 平成 30 年 7 月 28 日(土) 20 時～ 日先研 受講者 3 名

- ・第 2 回 平成 30 年 8 月 25 日(土) 20 時～ 日先研 受講者 3 名

この講習会は、日本口腔インプラント学会の専門医資格が取得できるよう当法人のインプラント学会指導医等の資格を持つ委員による支援事業である。

平成 30 年度は、インプラント学会専門医 受験者 3 名 合格者 2 名

氏名 (敬称略) 黒田泰志 小室美樹

- ・日先研認定医試験

平成 30 年 5 月 13 日 (日) 20 時～ 日先研 審査申請者 3 名 合格者 3 名

平成 30 年 5 月 16 日 (水) 20 時～ 日先研 審査申請者 4 名 合格者 4 名

平成 30 年 5 月 17 日 (木) 20 時～ 日先研 (山口県) 審査申請者 1 名 合格者 1 名

平成 30 年 5 月 27 日 (日) 20 時～ 日先研 審査申請者 4 名 合格者 4 名

平成 30 年 6 月 3 日 (日) 20 時～ 日先研 審査申請者 1 名 合格者 1 名

平成 30 年 12 月 9 日 (日) 15 時 30 分～ 日先研 審査申請者 2 名 合格者 2 名

10) 倫理審査委員会 (認定再生医療等委員会) (野村智義 委員長)

- ・研究倫理審査 4 件の倫理審査を行った。

平成 30 年 4 月 7 日～4 月 17 日

同年 5 月 8 日～5 月 9 日

同年 6 月 2 日～6 月 13 日

同年 11 月 6 日～11 月 12 日

- ・認定再生医療等 審査申請なし

認定再生医療等委員会の取り下げを行った。(9 月 30 日)

なお、当会組織内には同名の委員会を存置することとした。

11) 地区会連携委員会 (森本恭司 委員長)

平成 31 年 3 月 10 日 (日) ステーションコンファレンス東京にて地区連携委員会を開催し、翌年度の学術大会、MCI サポート歯科医・歯科衛生士認定講習会等主要な行事について打合せを行った。

12) NFC (日先研フォローアップクラブ) 委員会 (吉野 晃 常任理事)

認定講習会後のフォローアップを行うため NFC を立ち上げ、2 月に 1 度開催している。症例相談、学会発表予演等、幅広く会員の関心事に応じ、学術面での会員サポートを行っている。

第 1 回 平成 30 年 5 月 16 日 (水) 20 : 00～ 於 : 日先研 出席者 14 名

- ・講演 竹島明道先生

「周術期の創部感染を防ぐための手術環境の整え方」

- ・講演 野村明広先生 「口腔内写真について」

JIAD 口腔インプラント認定医・日本口腔インプラント学会ケーブル試験受験希望者向け

第 2 回 9 月 5 日 (水) 20 : 00～ 於 : 日先研 出席者 15 名

- ・講演 今宮圭太先生 「治療の質を向上するための歯科医院経営」

- ・症例発表 新海正碁 先生 村松朋養 先生

第 3 回 11 月 7 日 (水) 20 : 00～ 於 : 日先研 出席者 18 名

- ・講演 遠藤富夫先生

「サイナスリフトを日常臨床で取り入れる際のポイント」

- ・発表ワンポイント 吉野 晃先生 「資料採取にチャレンジしよう(1)」

第 4 回 平成 31 年 1 月 16 日(水) 20 : 00～ 於 : 日先研 出席者 14 名

- ・講演 竹島明道先生

「基本のキ、ガイドラインを知ろう！」

- ・発表ワンポイント 吉野 晃先生 「資料採取にチャレンジしよう(2)」

- ・全員ケーブル大会を 7 月 1 日 (日) 13 : 00～15:45 日先研において開催した。 20 名

樋口敬訓先生 下顎大白歯中間欠損にインプラント治療を行った 1 症例

杉本光平先生 下顎 6 インプラント症例報告

勝俣弾先生 左下臼歯部中間欠損に対応した 1 症例

羅広輝先生 下顎片側遊離端欠損に対してインプラント治療をおこなった1症例
金田叔朗先生 下顎右側臼歯部インプラント撤去後に新たにインプラントを埋入した一例
村松朋養先生 右側臼歯部にインプラントを用いた臼歯部の咬合回復の1症例
森田美弥子先生 Comparison of accuracy between the CAD technique and conventional
Semi-adjustable articulator method for transferring human mandibular movements
金田克宣先生 インプラントの長期症例の経過・患者さんとの付き合い方など

5. 【研修会、講習会及び学会出席(発表)を通じ積極的な歯科先端医療研究(学術)の習得を促す事業に関すること】

- 1) 平成30年度における研究発表は、1の研究開発事業に関する項目のとおりである。
- 2) 資格付与事業として認定医・指導医の更新状況を本法人の機関誌の学術会誌に掲示している。

6. 【全国各地の学術に関する啓発を図り、歯科医師等の教育研修の活性化に関すること】

各地区に在籍する会員並びに歯科医師の学術、教育の拡充を図るための諸行事を促進、活性化を図るために、平成20年度から助成金(補助金)を活動状況に応じ配分している。

地区研修会補助金を支給することで、地区会運営の活性化を図るとともに各研修会においては、内容の充実を図るため行っている事業である。

7. 【定時総会】

平成30年度定時総会 平成30年6月17日(日)9:00~10:00

場 所：福岡県歯科医師会館5階視聴覚室 福岡市中央区大名1-12-43

議 案

- 第1号議案 定款変更の件 全員一致で承認
第2号議案 選挙規程改正の件 全員一致で承認
第3号議案 役員報酬・費用弁償に関する規程改正の件 全員一致で承認
第4号議案 平成29年度事業報告及び附属明細書の承認の件 全員一致で承認
第5号議案 平成29年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)
及び附属明細書並びに財産目録の承認の件 全員一致で承認
第6号議案 役員を選任の件 全員一致で承認

8. 【事業報告会】

平成30年度事業報告会

平成31年3月10日(日)9:30~10:00 ステーションコンファレンス東京

報告事項

- 1) 平成30年度 第2回事業報告会・学術大会・市民公開講座について
- 2) 2019年度 定時総会・学術講演会について
- 3) 2019年度の理事会・総会等日程について
- 4) 各種委員会報告について

- 5) (公社)日本口腔インプラント学会報告について
- 6) 平成 31 年度事業計画について
- 7) 平成 31 年度予算について
- 8) 定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等について
- 9) 歯科衛生士セミナー(接遇セミナー、認定歯科衛生士セミナー)、歯科技工士セミナーの開催について

9. 【理事会の開催】

第 1 回理事会 平成 30 年 5 月 27 日 (日) 13:00~14:45 日先研

議案

- 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告書の件 全員一致で承認
- 第 2 号議案 平成 29 年度収支決算書の件 全員一致で承認
- 第 3 号議案 入会・退会の件 全員一致で承認
- 第 4 号議案 未収会費の回収の件 事務局がしっかり取り組むことを全員一致で承認
- 第 5 号議案 次期役員候補者名簿の修正の件 全員一致で承認
- 第 6 号議案 理事会日程の変更の件 理事会日程は変更しないことを全員一致で承認
- 第 7 号議案 事務局職員の勤務環境の件
 - (1)職員給与規程別表の改定 賞与を 35 万円とすることを全員一致で承認
 - (2)パート職員の配置 今回は取り扱わないことを全員一致で承認

第 2 回理事会 平成 30 年 6 月 17 日 (日) 9:40~9:50

場 所：福岡県歯科医師会館 5 階視聴覚室 福岡市中央区大名 1-12-43

議案

- 第 1 号議案 代表理事の選任の件
定款第 20 条第 2 項の規定により、全員一致で異議なく野本秀材理事を選定し、同氏は席上、代表理事に就任することを承諾
- 第 2 号議案 公益社団法人日本口腔インプラント学会指定研修施設長の変更の件
全員一致で異議なく、築瀬武史現施設長から奥森直人施設長への変更を決定
- 第 3 号議案 業務執行理事（副会長、専務理事、常任理事）の選任の件
定款第 19 条第 3 項及び第 20 条第 2 項の規定により、全員一致で異議なく次の業務執行理事を選定した。
副会長 富田達洋 理事、森本恭司 理事、木村英一郎 理事、
奥森直人 理事
専務理事 竹島明道 理事、野村智義 理事
常任理事 和手甚京 理事、溝口 尚 理事、柴垣博一 理事、
小室美樹 理事、吉野 晃 理事、米山俊之 理事、
大橋 功 理事
- 第 4 号議案 相談役等諮問機関の選任の件

定款第 27 条第 1 項及び第 27 条第 3 項の規定により、全員一致で異議なく次の諮問機関を選任した。

名誉会長 築瀬武史 前会長
相談役 尾上雄平 前監事、田中 悟 相談役、
金田克宣 元副会長
顧問 佐藤隆幸 前監事、小田 茂 顧問
片山幸太郎 顧問

第 3 回理事会 平成 30 年 7 月 8 日（日） 13：00～14：40 日先研

- ① 認定講習会のお昼について
協賛企業にお声がけをしていくことを全員一致で承認
- ② 地区で行う総会・学術講演会について
データを調査したうえで今後議題としていくことを全員一致で承認
- ③ 絵本（歯科インプラント啓発図書）の製作について
検討課題として次回に検討することを全員一致で承認
- ④ 就任披露祝賀会について 実施することを全員一致で承認

第 4 回理事会 平成 30 年 12 月 9 日（日） 13：00～15：00 浜松町センタービル 6 階
議 案

- 第 1 号議案 入退会の件 3 年未納者の退会については、継続案件となった。
- 第 2 号議案 平成 30 年度日先研功労賞受賞者推薦の件
尾上雄平前監事、佐藤隆幸前監事を推薦することを全員一致で承認
- 第 3 号議案 平成 30 年度認証医（旧アソシエイトフェロー）等申請者の審査の件
資格付与の委員会で審査の上進めることが全員一致で承認
- 第 4 号議案 2019 年度 理事会・総会等の日程等の件 全員一致で承認
- 第 5 号議案 2020 年度 総会・学術講演会の開催地の件
できれば中国四国地区でご担当いただくよう持ちかえりご確認いただくことが
全員一致で承認
- 第 6 号議案 諸規程改正の件
- ① 歯科衛生士認定講習会（認定セミナー）実施規定等 全員一致で承認
 - ② 宿泊費等支払運用内規 全員一致で承認
 - ③ 謝金・執務手当の支給基準
講演会講師の場合は、内規として整理することとして全員一致で承認
 - ④ 入会案内の修正—賛助会員への名簿配布の取りやめ 全員一致で承認
- 第 7 号議案 MCI 認定講習会の件
未調整の部分の調整を進め全体を後日報告することが、全員一致で承認
- 第 8 号議案 今年度で退任される内部講師を 3 月の学術講演会等に招待する件
今年度で退任される内部講師を学術講演会の後席にお招きすることが全員一致
で承認
- 第 9 号議案 インプラント学会掲載論文のための新たなファンドの件

学識者の力も借りながら日先研のスケールメリットを活かしたアンケート論文を仕上げる方向で進めることが全員一致で承認

第 10 号議案 ミャンマーからの歯学部大学院留学生を学術講演会に招待する件
ミャンマーからの歯学部大学院留学生を学術講演会と後席に招待することが全員一致で承認

第 11 号議案 ゼニス出版のインプラント絵本（仮）の編集体制の件
編集体制として編集刊行委員会に委ねることが全員一致で承認

第 12 号議案 「わたしのインプラント治療」冊子の残部と新規作成の件
新たに印刷することが全員一致で承認

第 13 号議案 海外研修助成の適正化の件
助成するうえでの基準のたたき台を作って次回の検討とすることが全員一致で承認

第 14 号議案 賛助会員の増加の件
企業の上の方をご存知の先生にはよろしくお願いしていくことが全員一致で承認

第 5 回理事会 平成 31 年 3 月 9 日（土） 18：00～20：00 日先研

議 案

第 1 号議案 平成 31 年度事業計画(案)の件 全員一致で承認

第 2 号議案 平成 31 年度予算(案)の件 全員一致で承認

第 3 号議案 入会・退会についての件 全員一致で承認

第 4 号議案 定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 全員一致で承認

第 5 号議案 平成 30 年度事業報告会の件 全員一致で承認

第 6 号議案 歯科衛生士セミナー（接遇セミナー、認定歯科衛生士セミナー）、歯科技工士セミナーの開催の件 全員一致で承認

平成 30 年度事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する標記附属明細書には、事業報告の内容を補足する重要な事項はない。